

## ハイリスク薬に関する ヒヤリ・ハット事例

ヒヤリ・ハット事例のうち、安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）が、1,950回報告されています。

そのうち、調剤に関する事例は1,821回、疑義照会に関する事例は129回報告されています。（集計期間：2010年1月1日～2010年12月31日）

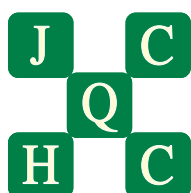
ヒヤリ・ハット事例で報告された主なハイリスク薬の販売名及び治療領域は下表の通りです。

（報告回数上位<sup>注）</sup>）

調剤		疑義照会	
販売名	治療領域	販売名	治療領域
デパス錠0.5mg	精神神経用剤	ワーファリン錠1mg	血液凝固阻止剤
アマリール1mg錠	糖尿病用薬	セlestamin配合錠	免疫抑制剤
ワーファリン錠1mg	血液凝固阻止剤	ノボリン30R 注フレックスペン	すい臓ホルモン剤
プレドニン錠5mg	免疫抑制剤	アマリール1mg錠	糖尿病用薬
パキシル錠10mg	精神神経用剤	ティーエスワン 配合カプセルT20	抗悪性腫瘍剤
デパス錠1mg	精神神経用剤	デパケン錠200	抗てんかん剤
ベイスンOD錠0.3	糖尿病用薬	プレドニゾロン錠「タケダ」 5mg	免疫抑制剤
テオドール錠100mg	テオフィリン 製剤	グリミクロン錠40mg	糖尿病用薬
デパケンR錠200	抗てんかん剤	アマリール3mg錠	糖尿病用薬
プレドニゾロン錠1mg (旭化成)	免疫抑制剤		

注) 外用薬を除く。外用薬のうち、報告回数が多かったのは、血液凝固阻止剤のヒルドイドソフト軟膏0.3%とヒルドイドローション0.3%である。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成22年年報」P129図表3-5、P134図表3-9を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部  
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル  
電話：03-5217-0281(直通) F A X：03-5217-0253(直通)  
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>